

2027年3月期 第1四半期決算概況

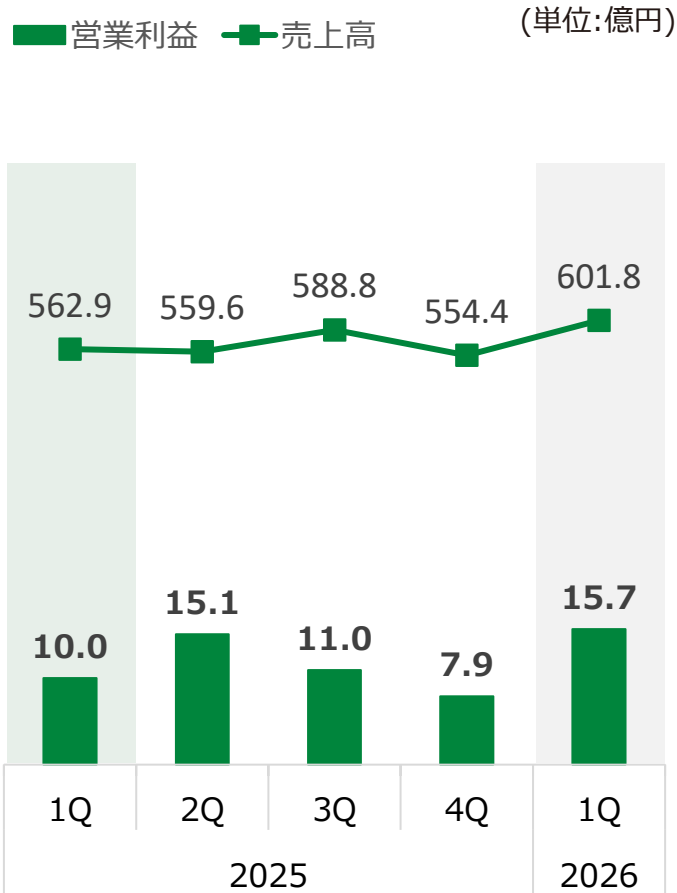
2026年8月10日

株式会社 J-オイルミルズ

問い合わせ先:

財務部財務企画グループ Tel. 03-5148-7100

2026年度第1四半期実績および2026年度業績予想サマリー



2026年度 1Q実績

連結売上高は601.8億円、連結営業利益は15.7億円と増収増益

- 価格改定および、販売重量増加により増収
- 価格改定の進捗や、高付加価値品の拡販など収益力向上に向けた施策を着実に実行したことで増益

2026年度 業績予想

連結売上高は2,430億円、連結営業利益は55億円と期初予想を据え置き

- 第1四半期は概ね計画どおりに推移
- 原料価格や物流費・資材価格など、今後のコスト環境は上振れが懸念される
- 適正価格の実現と収益力向上に向けた取り組みを推進し、環境変化に適切に対応することで、期初予想を据え置きとする

Agenda

- 1 2026年度 第1四半期 決算概況
- 2 2026年度 業績予想
- 3 参考資料

2026年度 1 Q 連結業績概要

(単位:億円)

	2025年度 1 Q実績	2026年度 1 Q実績	前年差	前年比
売上高	562.9	601.8	+ 38.9	106.9%
営業利益	10.0	15.7	+ 5.7	156.7%
経常利益	11.9	17.5	+ 5.6	147.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	8.8	13.5	+ 4.7	153.9%
営業利益率	1.8%	2.6%	-	-

2026年度 1Q セグメント別業績

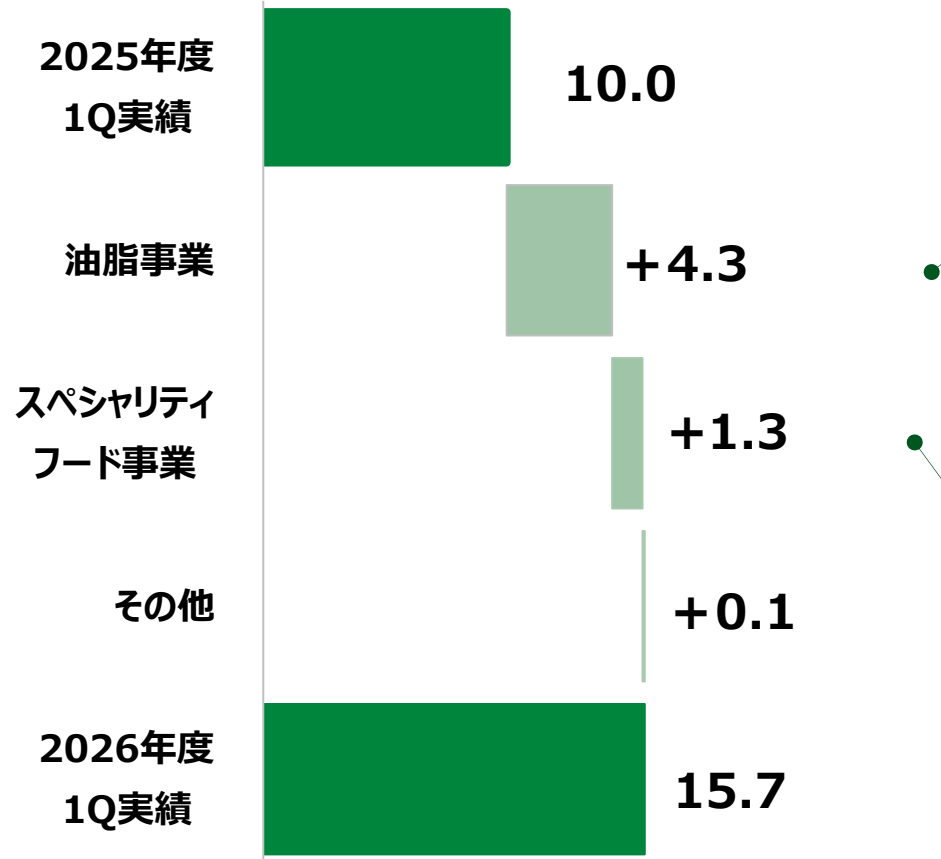
(単位:億円)

売上高	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績		
			前年差	前年比
油脂事業	514.1	554.2	+40.1	107.8%
スペシャルティフード事業	46.7	45.9	▲0.8	98.3%
(内乳系PBF)	25.7	27.8	+2.2	108.4%
(内食品素材)	21.0	18.1	▲3.0	86.0%
その他事業	2.0	1.7	▲0.4	81.4%
連結合計	562.9	601.8	+38.9	106.9%

営業利益	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績		
			前年差	前年比
油脂事業	7.9	12.2	+4.3	155.3%
スペシャルティフード事業	1.7	3.0	+1.3	172.4%
(内乳系PBF)	0.4	1.1	+0.8	317.9%
(内食品素材)	1.4	1.9	+0.5	135.4%
その他事業	0.4	0.5	+0.1	120.8%
連結合計	10.0	15.7	+5.7	156.7%

2026年度 1 Q 営業利益増減分析

■セグメント別 営業利益増減



(単位:億円)

油脂事業

	Net	販売価格	販売重量	原材料他
家庭用		▲6.2	+1.6	
業務用		+15.2	+1.5	
合計	+4.3	+9.1	+3.1	▲7.8

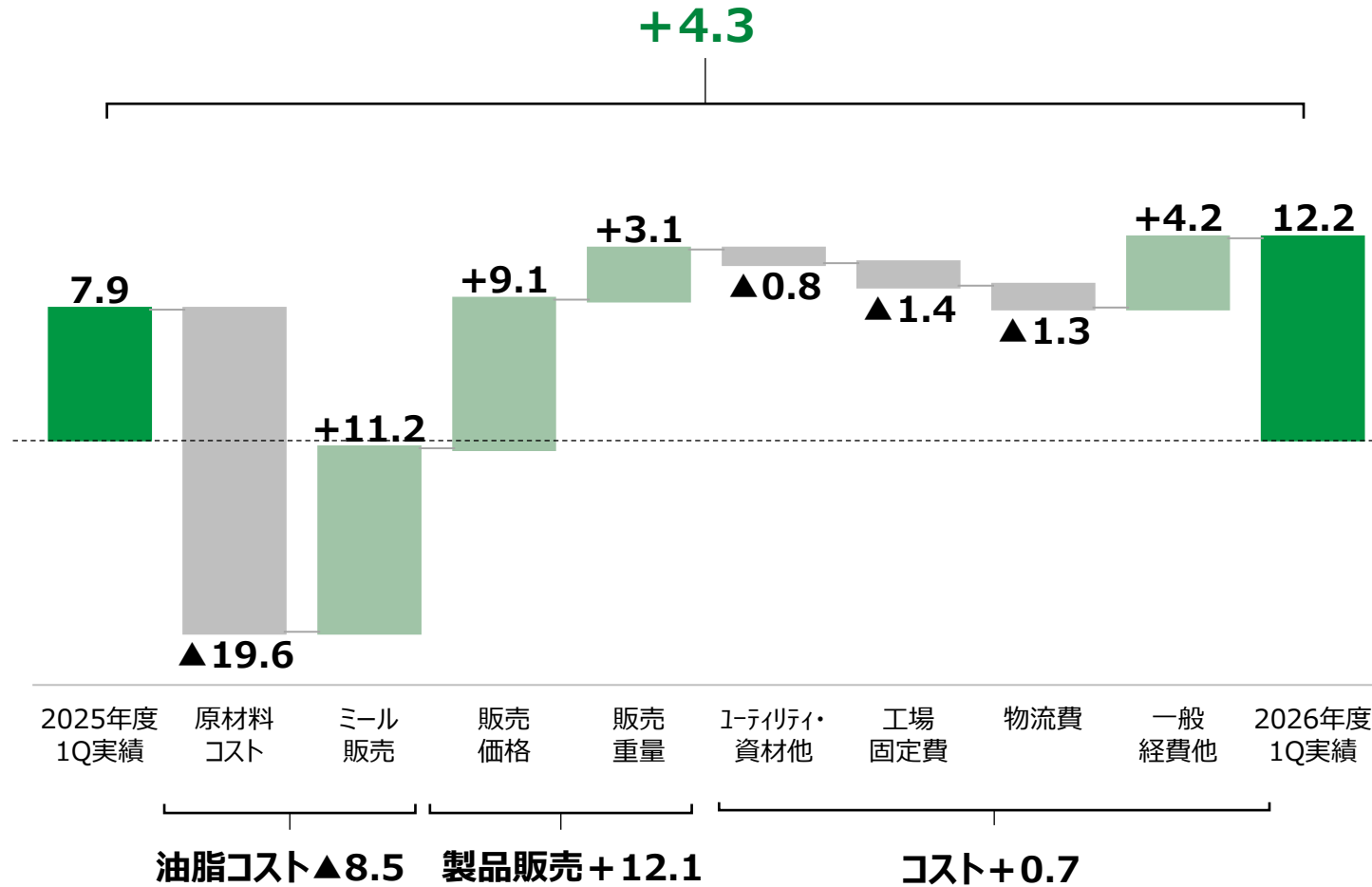
スペシャルティフード事業

	Net	販売価格	販売重量	原材料他
乳系PBF	+0.8	+0.9	+1.0	▲1.1
食品素材	+0.5	+0.7	▲1.5	+1.3
合計	+1.3	+1.6	▲0.5	+0.2

2026年度 1Q 営業利益増減分析

■ 油脂事業 営業利益増減

(単位:億円)



油脂コスト詳細			
原材料 コスト	▲ 19.6	大豆	▲13.7
		菜種	▲7.9
		為替	▲9.0
		購入油	+1.2
		在庫影響他	+9.7
ミール 販売	+ 11.2	販売価格	+10.6
		販売重量	+0.6

コスト詳細			
1-ティリティ・ 資材他	▲ 0.8	1-ティリティ	+0.5
		資材他	▲1.3
一般 経費他	+ 4.2	人件費	+2.6
		広告費	+1.7
		販促費	▲0.2
		その他	+0.1

高付加価値品の状況

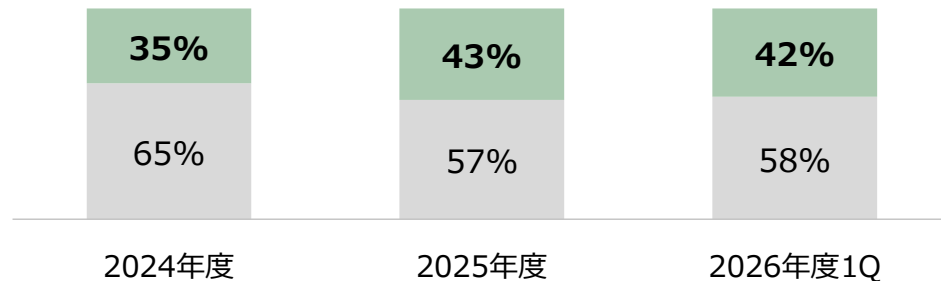
■ 高付加価値品連結売上高・粗利益

(単位：億円)

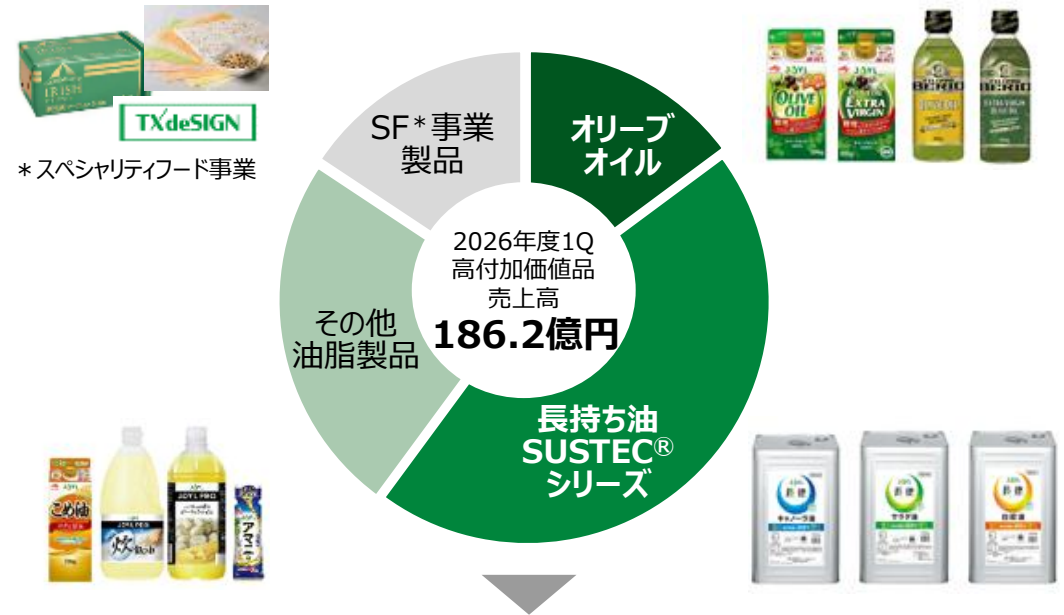
		2025年度 1Q	2026年度 1Q	前年比
	家庭用	46.9	43.0	91.6%
	業務用	102.2	114.0	111.5%
油脂事業		149.1	157.0	105.3%
スペシャルティ フード事業		29.3	29.2	99.6%
売上高		178.5	186.2	104.3%
粗利益		36.5	37.5	102.9%
粗利益率		20.4%	20.2%	▲0.3Ppt

■ 連結粗利構成比推移

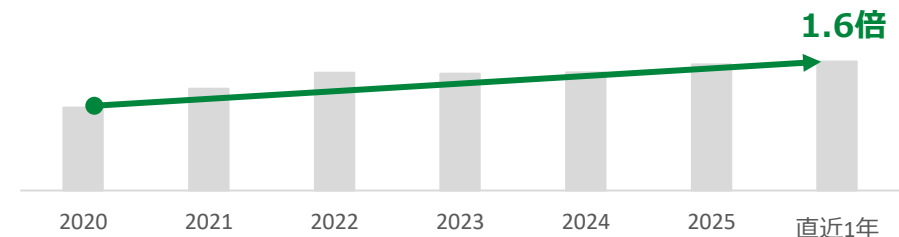
■ 汎用品 ■ 高付加価値品



■ 主な高付加価値品の売上高構成比



長持ち油SUSTEC®シリーズの販売重量推移



(2020年を1とする)

B/Sの状況

■ 連結貸借対照表

	25年期末	26年1Q末	増減
流動資産	957	1,000	+43
現預金	33	70	+37
売上債権	417	413	▲3
棚卸資産	469	478	+9
その他	39	39	+1
固定資産/繰延資産	706	698	▲8
有形・無形資産	461	458	▲3
投資その他	245	240	▲5
資産 計	1,663	1,698	+35

(単位:億円)

	25年期末	26年1Q末	増減
負債	552	593	+41
仕入債務	146	188	+42
有利子負債※	187	194	+7
引当金	36	27	▲9
その他	183	184	+1
純資産	1,111	1,105	▲6
株主資本	1,026	1,028	+2
包括利益他	80	76	▲4
非支配株主持分	5	2	▲4
負債・純資産 計	1,663	1,698	+35

※有利子負債・・・社債と借入金の合計値を使用

Agenda

- 1 2026年度 第1四半期 決算概況
- 2 2026年度 業績予想
- 3 参考資料

2026年度 連結業績予想

厳しい事業環境が続くが、迅速な意思決定のもと適切な施策を実行し、業績予想の達成を目指す

事業環境

- 原料価格は、バイオ燃料の需要拡大や円安などを背景に上昇基調、ミールバリューも低位推移
- 物流費・資材価格・エネルギーコストは上昇傾向
- 地政学リスクも重なり、先行き不透明

業績予想達成に向けた取り組み

- データベースマネジメントによる収益管理の高度化
- 事業環境の変化を適時・適切に反映した価格改定の実行
- サプライチェーン全体での効率化推進とコストダウンを実践

(単位:億円)	2025年度 実績	2026年度 予想	前年差	前年比
売上高	2,265.7	2,430.0	+ 164.3	107.2%
営業利益	44.0	55.0	+ 11.0	124.9%
経常利益	57.8	62.0	+ 4.2	107.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	47.5	50.0	+ 2.5	105.2%
営業利益率	1.9%	2.3%	-	-
ROE	4.4%	4.5%	-	-
ROIC	2.4%	2.8%	-	-
EPS (円)	143.6	151.0	-	-

2026年度 セグメント別業績予想

期初の予想を据え置きとする

(単位:億円)

売上高	2025年度 実績	2026年度 予想		
			前年差	前年比
油脂事業	2,068.5	2,227.6	+ 159.1	107.7%
スペシャルティフード事業	189.9	193.5	+ 3.6	101.9%
(内乳系PBF)	112.2	121.6	+ 9.4	108.4%
(内食品素材)	77.7	71.9	▲5.8	92.5%
その他事業	7.3	8.9	+ 1.6	121.3%
連結合計	2,265.7	2,430.0	+ 164.3	107.2%

営業利益	2025年度 実績	2026年度 予想		
			前年差	前年比
油脂事業	33.8	44.5	+ 10.7	131.8%
スペシャルティフード事業	8.3	8.6	+ 0.3	103.5%
(内乳系PBF)	3.8	3.8	+ 0.0	100.9%
(内食品素材)	4.5	4.8	+ 0.3	105.6%
その他事業	2.0	1.9	▲0.1	96.8%
連結合計	44.0	55.0	+ 11.0	124.9%

「スマートグリーンパック®」を「紙らくパック」にブランド名称を変更

環境意識の高まりや利便性ニーズを背景に拡大する紙パック食用油市場において、
ブランド認知向上と商品価値訴求の強化を図る

紙らくパック



狙い

- 商品の価値や利便性を、消費者により直感的・分かりやすく伝える
- 「らく」には、注ぎやすい、液だれしにくい、軽い、収納しやすい、捨てやすいなど、使用時の利便性を表現
- パッケージデザインも刷新し、油種ごとのカラーリングを採用することで、商品識別性と店頭・家庭内での視認性を向上



小中容量紙パック製品のラインアップ拡充

消費者の小容量化ニーズの高まりを捉え、需要拡大が見込まれる小中容量市場での商品展開を強化し、新規顧客獲得および販売重量拡大を図る

BtoB向けお役立ちサイト「おいしさデザインラボ®」開設

油脂とスターチを融合した「おいしさデザイン®」提案を発信し、幅広い顧客へ課題解決型ビジネスを拡大

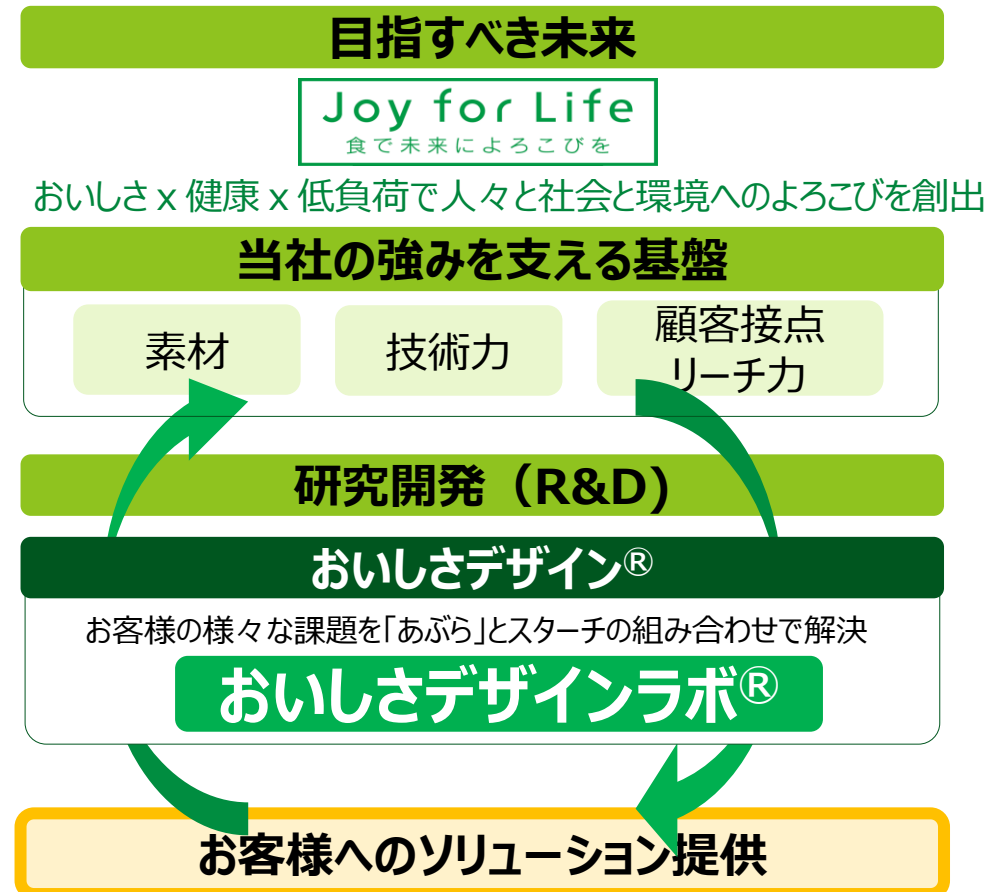
おいしさデザインラボ®イメージ



狙い

- 業務用油脂、テクスチャー素材の認知度向上
- おいしさデザイン®提案のWEB展開による課題解決型提案を通じた顧客接点拡大とクロスセル機会の創出
- WEB活用による営業活動の効率化
- 顧客ニーズの蓄積・分析を通じた提案力の強化

J-オイルミルズの強み「おいしさデザイン®」



Agenda

- 1 2026年度 第1四半期 決算概況
- 2 2026年度 業績予想
- 3 参考資料

原料動向

原料・為替状況※1

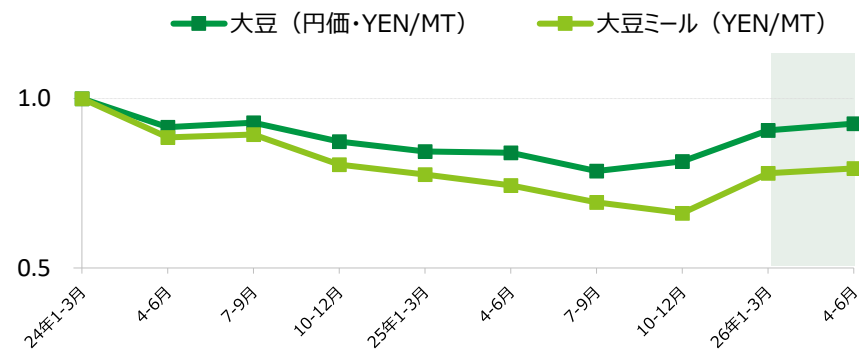
	25'1Q	25'2Q	25'3Q	25'4Q	26'1Q		26'2Q		26'3Q		26'4Q	
	結果	結果	結果	結果	結果	前年差	結果	前年差	直近相場	前年差		
大豆 ¢/Bu※2	1,025.0	1,043.7	1,012.4	1,076.2	1,115.3	+90.3	1,162.4	+118.8	1180.3	+167.9		
菜種C\$/MT※3	627.3	693.2	659.2	620.6	670.8	+43.5	738.9	+45.7	761.4	+102.2		
ミール1-%	57.5	54.2	51.1	54.5	51.2	▲6.3	46.8	▲7.4	47.4	▲3.7		
海上運賃us\$/t※4	50.0	46.9	58.1	58.3	58.3	+8.4	71.4	+24.5	68.8	+10.6		
為替レート円/us\$※5	153.7	145.6	148.5	155.2	158.0	+4.2	160.4	+14.8	+163.2	+14.7		

※1: 搾油原料の買付けは基本的に約3カ月前の時点にて行っており、本図では各期の業績に影響のある期間相場の平均値を示しています

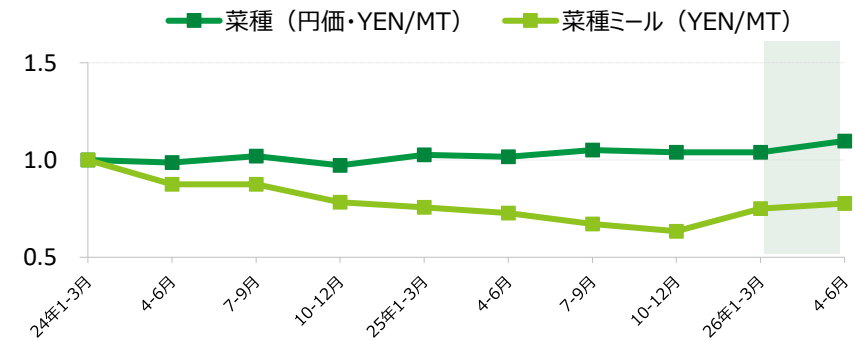
※2: シカゴ相場 ※3: ウィネペグ相場 ※4: US Gulf-Japan PANAMAX ※5: 為替TTSレート

原料価格推移

大豆・大豆ミール



菜種・菜種ミール



※2024年3月を1として算出

2026年度 1Q 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年比較

(単位:億円)

	2025年度 1Q	2026年度 1Q	対前年 増減額	詳細
油脂事業	7.9	12.2	+4.3	
家庭用				販売価格: ▲6.2、販売重量: +1.6
業務用				販売価格: +15.2、販売重量: +1.5
スペシャルティフード事業	1.7	3.0	+1.3	
乳系PBF	0.4	1.1	+0.8	販売価格: +0.9、販売重量: +1.0
食品素材	1.4	1.9	+0.5	販売価格: +0.7、販売重量: ▲1.5
その他	0.4	0.5	+0.1	
総計	10.0	15.7	+5.7	

■ 油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年 増減額	詳細
製品販売	+12.1	
販売価格	+9.1	汎用品: +13.1、高付加価値品: ▲4.0
販売重量	+3.1	汎用品: ▲0.1、高付加価値品: +3.1
参考) 高付加価値品	▲0.9	家庭用: ▲7.3、業務用: +6.4
油脂コスト	▲8.5	
原料コスト	▲19.6	大豆: ▲13.7、菜種: ▲7.9、為替: ▲9.0、購入油: +1.2、在庫影響他: +9.7
ミール販売	+11.2	販売価格: +10.6、販売重量: +0.6
その他コスト	+0.7	
1-ティリティ・資材他	▲0.8	1-ティリティ: +0.5、資材他: ▲1.3
工場固定費	▲1.4	
物流費	▲1.3	
一般経費他	+4.2	人件費: +2.6、広告費: +1.7、販売促進費: ▲0.2、その他: +0.1
油脂事業	+4.3	

*為替（期中平均レート）
2025年1Q:151円/1ドル
2026年1Q:156円/1ドル

2026年度業績予想 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年比較

(単位:億円)

	2025年度	2026年度 通期予想	対前年 増減額	詳細
油脂事業	33.8	44.5	+ 10.7	
家庭用				販売価格: + 16.0、販売重量: + 4.2
業務用				販売価格: + 109.5 販売重量: + 2.8
スペシャルティフード事業	8.3	8.6	+ 0.3	
乳系PBF	3.8	3.8	+ 0.0	販売価格: + 4.5、販売重量: ▲1.1
食品素材	4.5	4.8	+ 0.3	販売価格: + 1.1、販売重量: ▲1.9
その他	2.0	1.9	▲0.1	
総計	44.0	55.0	+ 11.0	

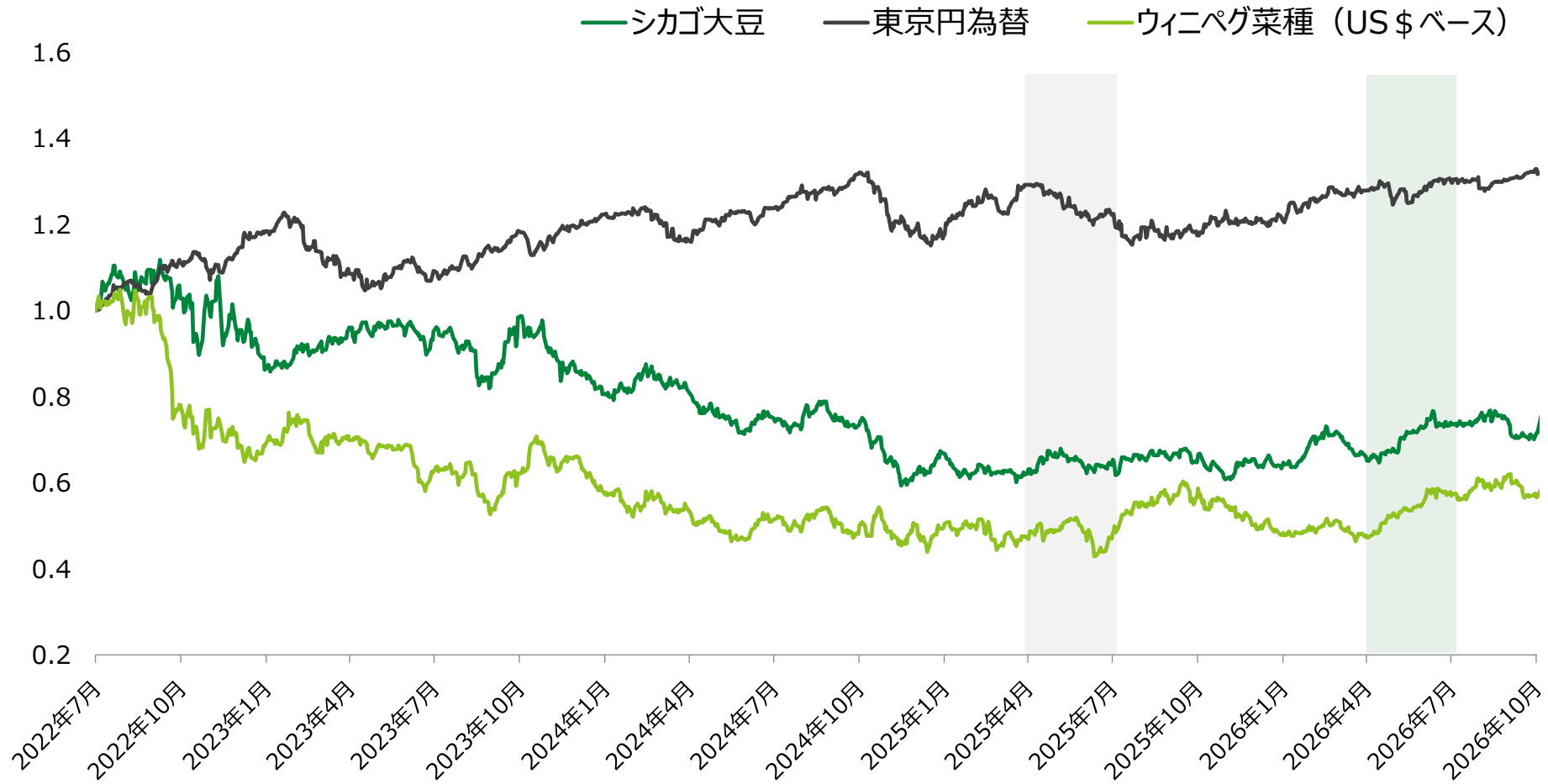
■ 油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年 増減額	詳細
製品販売	+ 132.5	
販売価格	+ 125.5	汎用品: + 100.7、高付加価値品: + 24.7
販売重量	+ 7.0	汎用品: ▲0.9、高付加価値品: + 7.9
参考) 高付加価値品	+ 32.6	家庭用: ▲0.6、業務用: + 33.3
油脂コスト	▲79.0	
原料コスト	▲131.3	大豆: ▲64.2、菜種: ▲41.3、為替: ▲51.2、購入油: ▲9.6、在庫影響他: + 35.0
ミール販売	+ 52.3	販売価格: + 52.1、販売重量: + 0.2
その他コスト	▲43.0	
1-ティリティ・資材他	▲1.2	1-ティリティ: + 2.8、資材他: ▲4.0
工場固定費	▲10.0	
物流費	▲8.4	
一般経費他	▲23.5	人件費: ▲2.9、広告費: ▲0.6、販売促進費: ▲0.9、その他: ▲19.1
油脂事業	+ 10.7	

*為替（期中平均レート）
2025年度:149円/1ドル
2026年度予想:155円/ 1ドル

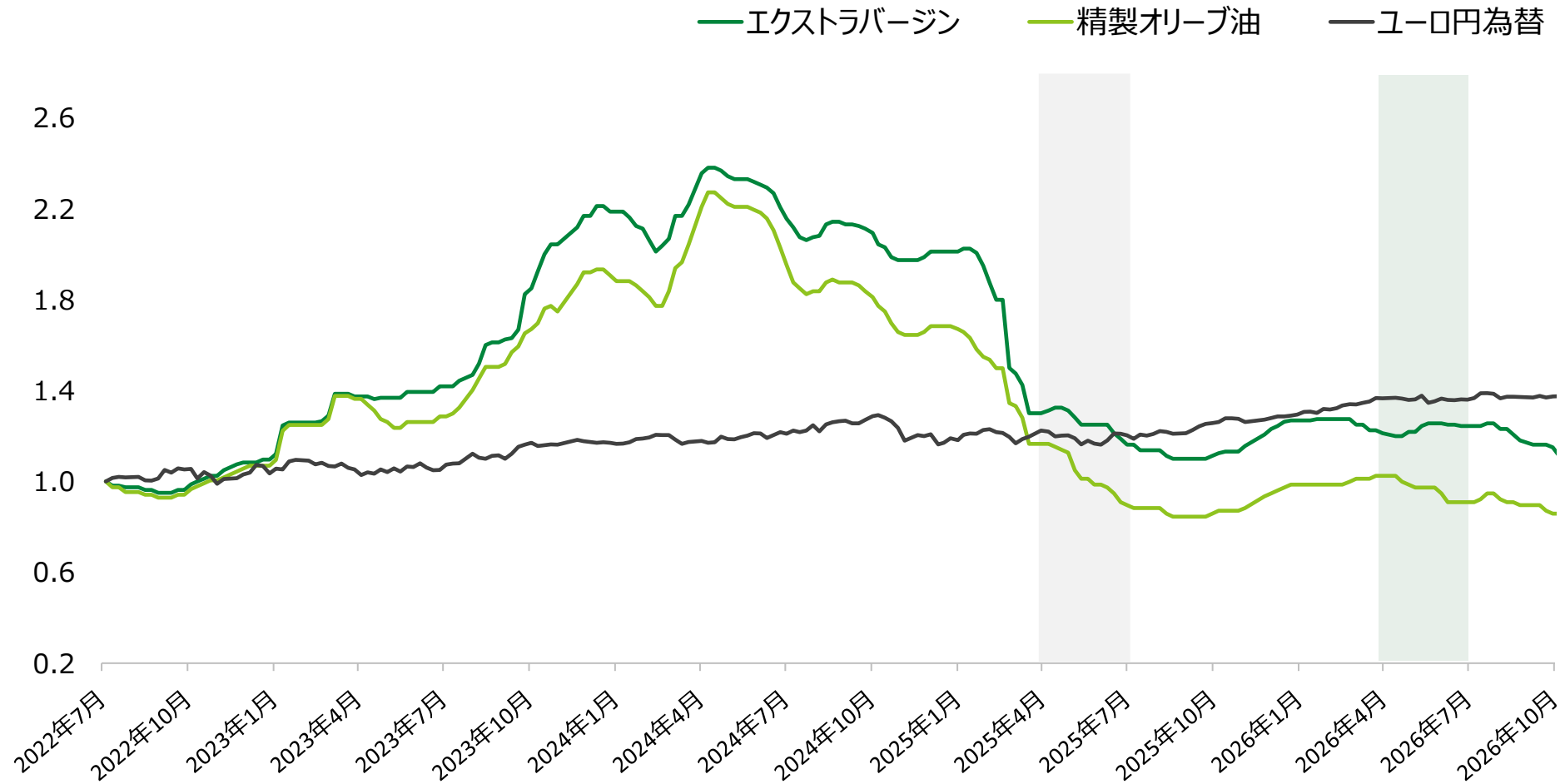
大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2022年4月を1とする(図中では2022年7月が1となる))



オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2022年4月を1とする(図中では2022年7月が1となる))



ミールバリューの動向



* シカゴ大豆定期 1 ブッシェルから産出する大豆油と大豆ミールの価値の合計と大豆 1 ブッシェルの価格の差



Joy for Life

＜本資料取扱上の注意＞

- ・本資料の金額は四捨五入で表示しております。
 - ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。